

医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）中間評価結果

1. 中間評価を実施した課題

課題名	薬剤耐性（AMR）菌感染症治療薬を目的とした創薬研究
代表機関	大日本住友製薬株式会社
公募タイプ	研究開発タイプ

2. 本課題の概要

抗菌薬に対する耐性菌の出現と蔓延は世界的な問題であり、2050年に耐性菌感染症で死者1千万人/年、経済損失100兆ドルが予測され、WHOを中心として国家・国際レベルでの対策が必要とされている。我が国では薬剤耐性（AMR）対策アクションプランが2016年に策定され、その中で薬剤耐性菌感染症治療薬の研究開発も重要な課題となっている。

本課題では、大日本住友製薬の研究員複数を北里研究所大村創薬グループに派遣して緊密な連携を維持しながら研究を強力に推進することで薬剤耐性菌感染症治療薬の実用化を目指している。すなわち、リード化合物を起源とした化合物構造最適化研究を両者の総力をあげて実施し、同時に薬効や薬物動態、安全性などを評価して、早期に前臨床試験に投入可能な複数の化合物の創出を目指している。これらの臨床候補化合物が第3相臨床試験で有効性が認められることを目標としている。

3. 本中間評価の目標

- (1) 進捗状況や成果を把握する。
- (2) 今後の見込みを検討する。

※本中間評価にあわせて設定されたマイルストーンはない。

4. 成果

- ・最も進捗しているテーマに関しては薬理・物性・安全性などの包含基準を満たす候補化合物を見出しており、順調に進捗していることを確認した。他のテーマに関しても薬理・物性・安全性などの検討を実施していることを確認した。
- ・産学連携の体制で活発な人材育成が積極的に進められていることを確認した。

5. 評価結果

本課題は1つのテーマに関して顕著な進捗があり、その他のテーマに関しても予定どおりの進捗が認められることから、計画どおりに研究開発が進捗していると評価した。

顕著な進捗が認められたテーマ以外は選択と集中で絞り込み、産学連携で英知を結集して加速化すべきであると評価した。

以上をもって、本課題の継続を可とした。

以上